

# 東北森林管理局

## 森林技術・支援センター

# たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t\_gijutu@rinya.maff.go.jp

### 新年度に向けて

4月1日付けで、森林技術・支援センター所長を拝命した野藤昌弘です。

青森県内の勤務は、旧市浦署担当区主任で勤務して以来、約30年振りとなりますので、よろしくお願ひします。

さて、国有林は一般会計へ移行し3年目を迎えますが、民有林との連携や林業の低コスト化に向けた技術開発等による民有林への技術支援を着実に進めるため、平成27年度は低密度植栽試験などの8技術開発課題に取り組んで参ります。

また、センターがある中泊町周辺は、青森県津軽のヒバの生育地であることから、その特性を生かした、地域で求められる林業技術の開発・普及や研究機関の行う現地調査へも連携して協力しているところです。職員が6名と少数精鋭の中、地域の良さをできる限り体感し、地域が何を求めているか、自分たちに何ができるかなどセンター全体で考えながら行動して参りたいと考えています。

何事にも、職場の安全確保と職場の和を基本として、国民目線を意識し、地域の信頼に応える組織となるよう業務運営にあたる所存ですので、皆様よろしくお願ひします。

ノトリ マシロ  
所長 野藤 昌弘



### 新任のご挨拶

イデカリ マシオ  
森林技術普及専門官 出川 真潮

平成27年4月1日付け人事異動により、森林整備部 森林技術・支援センター 森林技術普及専門官（盛岡森林管理署駐在）を拝命いたしました出川です。主な担当は低密度植栽試験地調査等の現地対応となります。

林業コスト削減を推進する中で低密度植栽試験は、植付から保育間伐まで造林事業全般に関係する重要な技術開発課題のひとつと考えております。

次の世代へ継いでいく財産としてより良い森林整備と、民有林への技術支援に資するため地道に調査成果の積み上げや課題に取り組んで参りたいと考えております。

関係機関並びに各署の皆様には何卒ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

マスタ ヲウ  
森林技術専門官 増田 悠介

平成27年4月1日付けで森林整備部 森林技術・支援センターの森林技術専門官を拝命しました増田です。よろしくお願ひします。当センターでは技術開発、民有林支援が主な活動になります。

現在、木材が成長し伐採を迎える森林が増えていく中で、木の伐採後に再び木を植える植栽や保育が必要になってきていますが、コストが掛かるため植栽をしないという方々が増えてきています。コストを抑えるため、低密度植栽、伐採から植付までの一貫作業システムなどの技術開発課題について各機関と連携をとりながら取り組んでいきたいと考えております。

閑話休題、私個人は登山が趣味で東北の山々を休日に登りに行きます。登山をしながら、植物の写真を撮るのですが、植物を通じて毎年の山の状況を感じることができるのが楽しみです。

今後、植物についてご紹介ができればと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 技術開発課題の紹介について

当センターでは、現在8つの技術開発課題に取り組んでいますが、一部ご紹介します。

### 1. 空中取り木による青森ヒバ苗木の生産の試み（平成24年度～平成27年度）

近年、ヒバの良質な大径材の減少に伴い、青森ヒバの供給が減少しています。当センターで行っているヒバ植栽試験では、植栽後の大苗の生長が良い傾向を示しています。

このことを踏まえ、空中取り木を行うことによって容易に大苗を採取できることから、ヒバ人工林や天然林において、効果的な空中取り木による苗木の採取方法を検討しています。また、皆伐跡地への植栽や天然林の樹冠ギャップへの樹下植栽等の様々な条件で空中取り木の苗木を植栽し、その後の成長の調査に取り組んでいます。

今年度がこの技術開発課題の最終年になり、完了報告する予定です。



取り木苗の発根状況

### 2. 低密度植栽試験（平成26年度～平成29年度）

林業の低コスト化にむけた技術開発を推進する中で、低密度植栽は、苗木や植栽費用の削減だけでなく、保育間伐の省略等、全般的な費用の縮減につながるが見込まれます。また、育成課程において一定程度の広葉樹の侵入も想定されることから、生物多様性の確保にも効果があると思われます。

このため、植栽木の生存率や成長・材質への影響、生物多様性の程度を明らかにするため、スギ、カラマツの低密度植栽を検証します。

今年度については試験地を新たに2カ所増やし、5月から調査について本格的に開始します。



試験地の様子  
（三陸北部署）

### 3. ヒバコンテナ苗による低コスト育林手法の開発（平成27年度～平成29年度）

ヒバのコンテナ苗の育苗、植栽、育林方法の実証試験を行い、コンテナ苗の改良と、ヒバのコンテナ苗による植栽、育林方法の効率化の手法の開発を行います。

今年度からの新規技術開発課題になり、5月から調査について本格的に開始する予定です。

#### 森林技術・支援センターの 安全への取組状況

平成27年度健康安全管理実施計画における重点目標は、

- 1 労働災害の絶滅、安全管理体制の充実強化と安全意識の高揚
- 2 周囲の状況確認危険予知能力の向上
- 3 職業性疾病の予防と健康管理の推進
- 4 蜂刺され災害の防止
- 5 交通事故の防止

となっております。

特に、技術開発課題における調査業務が多いことから、周囲の確認及び足場、足元の確認を行いながら「周囲よし」「足場、足元よし」の声かけ運動を実施し、今年度の無災害を目指すことにしております。（担当：副所長）

#### 編集後記



今春は例年より早い雪解けで、ここ中泊町にもいつもより早い春が訪れ、花を見たり山菜が大好きな人にとっては山を歩くのが楽しい季節を迎えています。

新年度がスタートしてからは、技術開発課題の資料作りや、試験地が設定されている署との打合せなど内業がメインでしたが、これから本格的に現地での調査が始まります。

試験地の状況など、この紙面を通じて随時その様子を皆さんに紹介していきたいと思っておりますので、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

